

太陽電池モジュール据付工事説明書

販売店・工事店様用

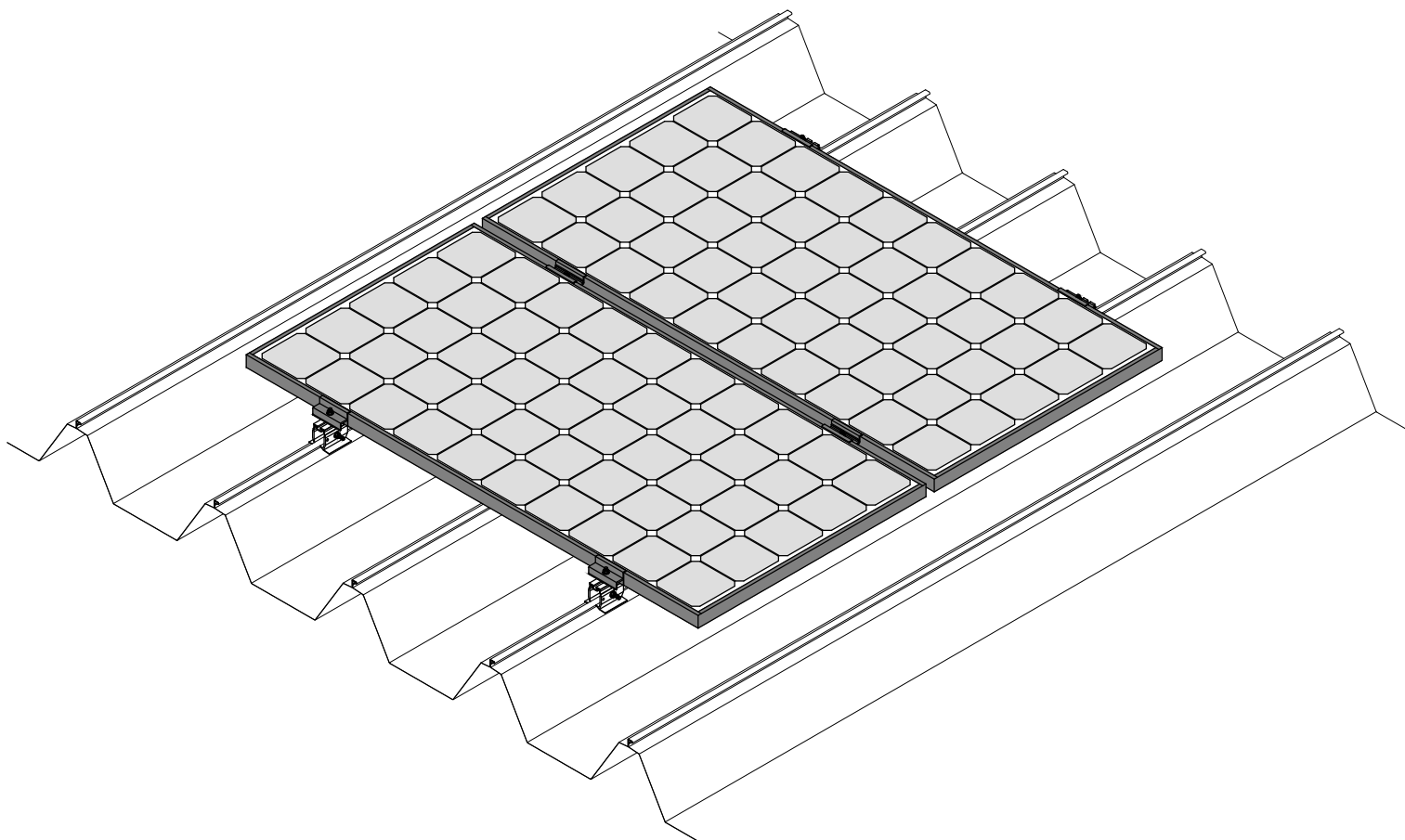
もくじ

1. 架台 p1
2. 太陽電池モジュールの据付け p2

◆ 仕様 ◆

太陽電池モジュール	ツメ無し 横置
架台化粧	ブラック
YG0工法	

ハゼ折板AL金具対応

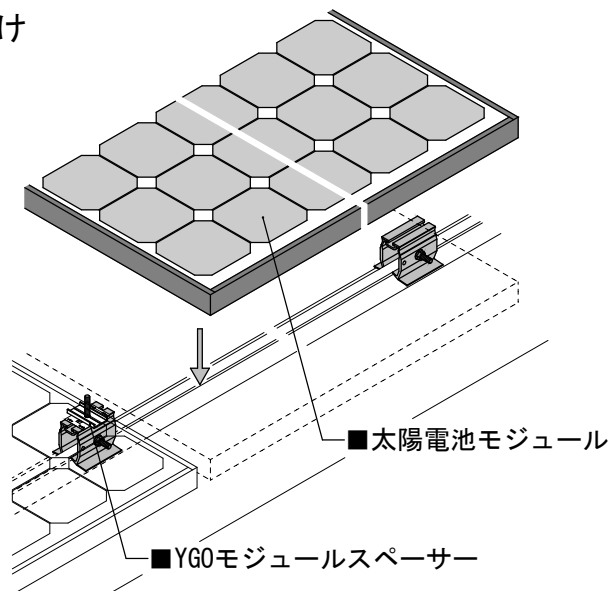
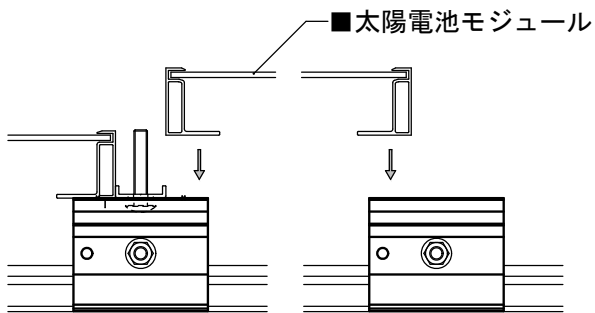


設置工事をされる方へお願い

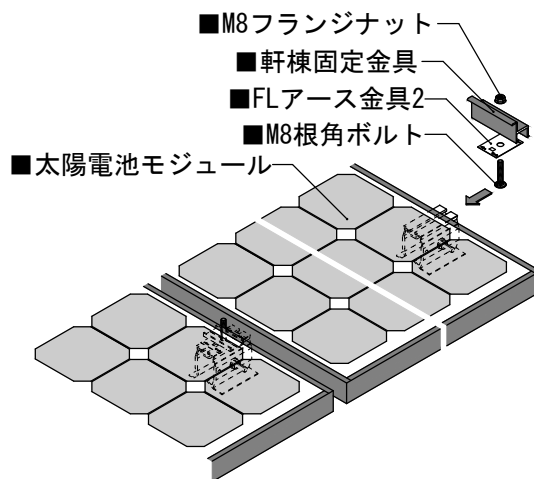
- 据付工事を始める前に据付工事説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。
- 据付け強度を確保するため、据付工事説明書の据付方法を守ってください。
- 据付工事は販売店・工事店さまが実施してください。（第2種電気工事士の資格必要）
 - 据付工事は、感電のおそれがありますので、防護手袋を着用し、「労働安全衛生規則」に従って施工してください。
- 太陽電池モジュール・パワーコンディショナー・接続箱は、他社製品と組合わせての据付けは行わないでください。
- 取付けるための部材は必ず付属の部品を使用してください。
- 太陽電池モジュール1枚、同一系統の+・-コネクタをループさせないでください。
- 建築強度については考慮されていませんので、販売店様、施工店様にてご確認ください。

4) 最終段の太陽電池モジュールの据付け

- ①最終段の太陽電池モジュールを YG0モジュールスペーサーの後に置きます。

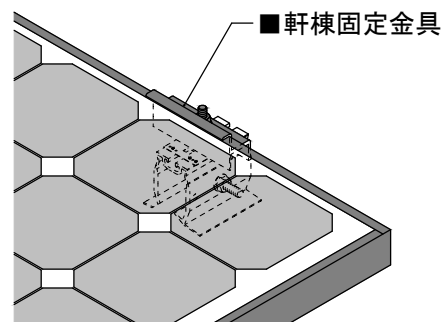
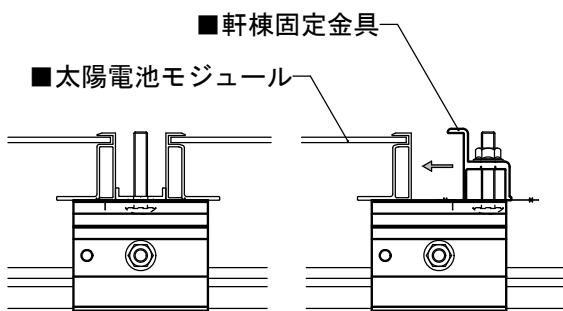


- ②M8根角ボルトにFLアース金具2、軒棟固定金具、M8フランジナットを入れ、ハゼ折板AL金具に差し込みます。



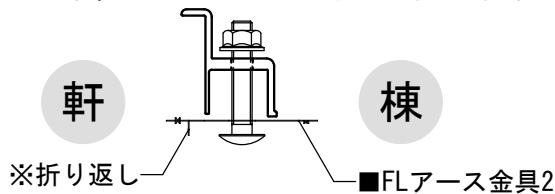
- ③軒棟固定金具を太陽電池モジュールに当たるまでスライドさせます。

※FLアース金具2は必ず太陽電池モジュールを持ち上げて、ハゼ折板AL金具の間に挟み込んでください。挟み込むことでアースが取れます。

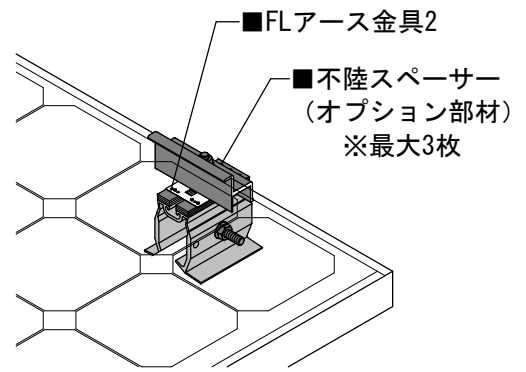
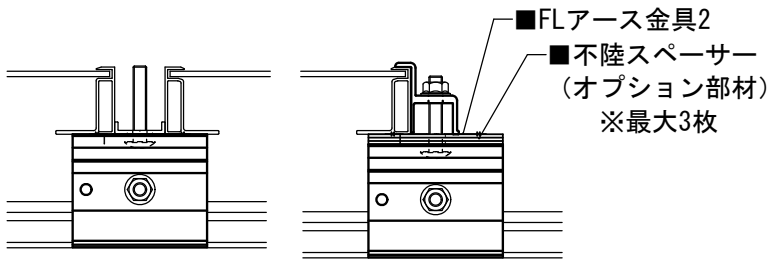


！ 注意

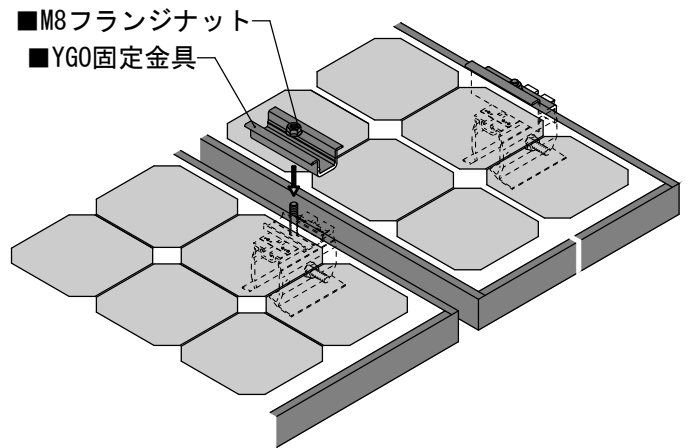
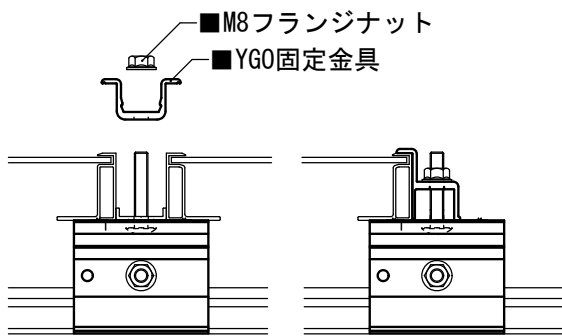
- ・FLアース金具2の折り返しを軒側にしてください。逆に入れると不陸スペーサーが入らなくなります。



この際、必要に応じて 1) ⑧⑨
 の手順に従い不陸調整を行います。
 不陸スペーサーはFLアース金具2の
 下に入れ込みます。
 ※最大3枚まで入れることができます。

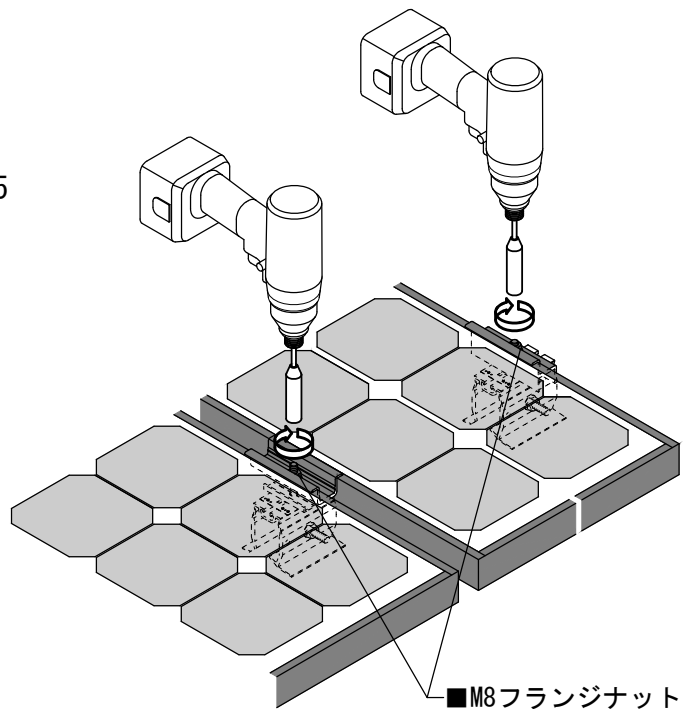
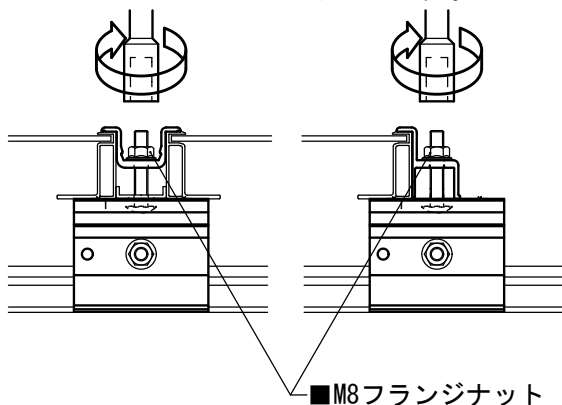


④ 太陽電池モジュール間のM8根角ボルトにYG0固定金具、M8フランジナットを入れます。



⑤ 全てのM8フランジナットを本締め
 します。
 (締め付けトルク4N・mで締め付け
 た後、トルクレンチで6N・m±0.5
 まで締めます。)

※本締め後、ボルト締結部を油性ペン
 でマーキングします。



⑥ 2) と同様にコネクタの接続とケーブルの処理を行ってください。

5) 架台アース

① 太陽電池モジュール架台より接続箱、地面へアース接続します。

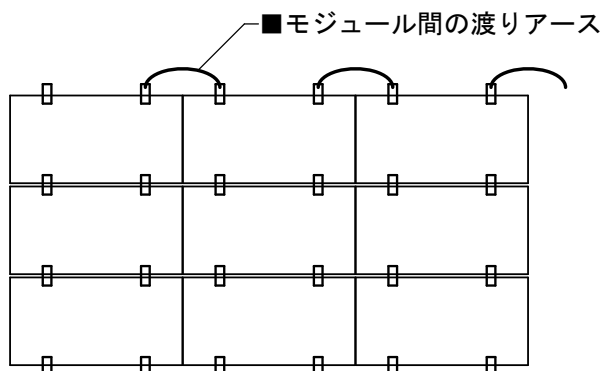
(i) 圧着端子（現場調達部材）をアース線（現場調達部材）に圧着ペンチで取り付けます。

(ii) アース線の圧着端子をドリルビス（現場調達部材）でハゼ折板AL金具の側面に打ち込み横方向の太陽電池モジュール間の渡りアースを取ります。

不陸スペーサーを使用した場合は、不陸スペーサーの穴に打ち込みます。

(iii) 地上接地用のアース線（現場調達部材）をハゼ折板AL金具に取り付けます。

(ii) 同様、不陸スペーサーを使用した場合は、不陸スペーサーの穴に打ち込みます。

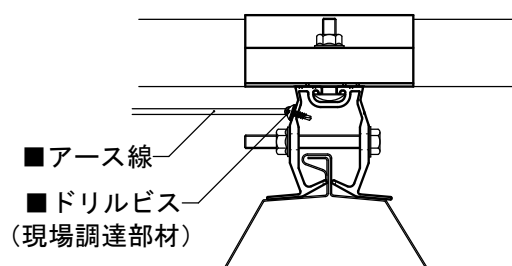
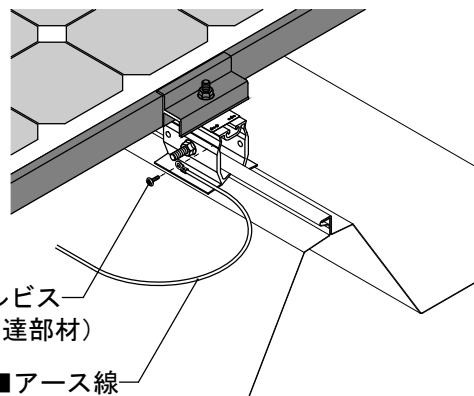


！ 注意

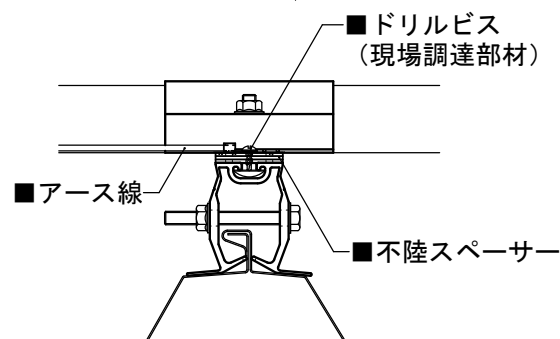
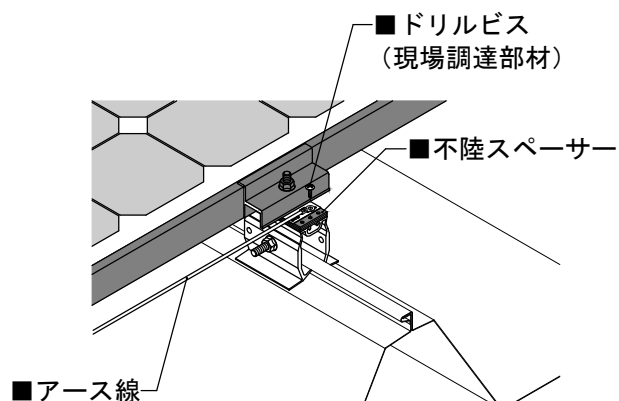
C種またはD種接地工事が必要です。
アースを取らないと感電の恐れがあります。
アース工事は有資格者が行ってください。

お願い

アース線が弛んで屋根材に触れないようにしてください。



不陸スペーサーを使用した場合



！ 注意

不陸スペーサーを使用した場合、ハゼ折板AL金具は導通していませんので、必ず不陸スペーサーにアース接続してください。